

健康通信

緩和ケア病棟ボランティアの紹介



緩和ケア病棟ボランティア
コーディネーター

鈴木 一枝

市民病院の緩和ケア病棟が開設された年に、ボランティアグループ「オリーブ」が立ち上がりました。今年で7年目を迎えます。現在、32人のボランティアとコーディネーターが活動しています。

「オリーブ」の名前の由来は

グループ名は、花言葉で「平和」「やすらぎ」の意味を持つ「オリーブ」に由来しています。「患者さんとご家族の抱える、からだのつらさ、心ごころのつらさ」が和らぐように支援します。」という緩和ケア病棟の理念の下、活動して

います。

実際にボランティア活動は何をしているの？

日々の活動として、庭木の手入れや花瓶の花生け、ティーサーブスがあります。患者さんが、庭の草花に季節を感じたり、植物の成長を楽しむにしておさっているのが励みとなっています。ティーサーブスは、メニューは少ないですが、「笑顔」の提供に心掛けています。患者さんがご家族や面会の方とお茶を召し上がり、くつろいだ時間を過ごしていただくために、心を込めてお茶をいれています。緩和ケ

ア病棟の環境作りのお手伝いとして、壁紙作りや小物作りなどをしています。壁紙は、季節や行事を表した作品ですが、メンバーの創意工夫が詰まった力作です。また、季節の行事やお楽しみ会にも参加し、スタッフとともに患者さんやご家族の楽しいひとときの演出に協力しています。

ボランティアのやりがいは？

ボランティアは、医療者とは異なり、患者さんと同じ市民の立場で、患者さんやご家族の気持ちに寄り添う存在でありたいと思っています。ボランティアの存在が病棟の風景の一部になって、患者さんやご家族の笑顔が増えることが、やりがいにつながります。

ボランティアに参加するには？

ボランティア参加の動機は様々ですが、病気でつらい思いをしている人の役に立ちたいという思いは共通です。そういう思いを一緒に実現してみませんか。楽しい時間を一緒に作りましょう。緩和ケア病棟のボランティアに参加するためには、ボランティア養成講座を受けていただく必要があります。養成講座の詳細は、6月発行の広

問合せ 市民病院 (☎76・4131)

報で告知する予定です。また、市内の公共施設や病院内での要項配布および病院ホームページのお知らせ等で情報提供を行いますので、詳細をご確認ください。皆さんのご参加をお待ちしております。



▲花瓶の花生けの様子



▲ティーサービスの様子